

<特定検診 2023 年版>

令和 2 年度から 4 項目(貧血検査、血清クレアチニン(eGFR)、HbA1c、血清尿酸)が追加検診項目となることが決定しました。

糖尿病関連の検査は、採血が食後 10 時間以上か 10 時間未満かによって検査項目が変わります。

心電図と血清クレアチニン(eGFR)は基準を満たす場合にのみ実施されます。

- 1) 開始時期:令和 5 年 6 月 1 日から
終了時期:令和 6 年 3 月末日
- 2) 対象者:国保加入者(広島県内23市町)、40 歳—75 歳
- 3) 検診内容:
 - I) 診察
 - II) 身体計測(身長・体重・腹囲・BMI)
 - III) 血圧
 - IV) 肝機能(AST, ALT, γ -GTP)
 - V) 血中脂質(TG, HDL, LDL(Non-HDL))
 - VI) 血糖(空腹時血糖、HbA1c) ^{注1}
 - VII) 尿検査(尿糖、尿蛋白)
 - VIII) 貧血検査
 - IX) 心電図 ^{注2}
 - X) 腎機能(尿酸、血清クレアチニン、eGFR)^{注3}

注 1:食後 10 時間以上で空腹時血糖と HbA1c

食後 10 時間未満で HbA1c のみ

注 2:診察で不整脈の疑いか、血圧が 140/90以上

注 3:血圧が130/85以上か、空腹時血糖 \geq 100、HbA1c \geq 5. 6